

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月 9日 更新

事務事業名		図書館電算管理システム維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会	課長名	牧野 淳一
	施策	10	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	中田 玖美
	施策の柱	39	生涯学習施設(環境)の整備			所属班	生涯学習班	(内線)	1505
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番	11164	根拠法令	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	図書館電算システムの維持・管理、利用者向けインターネット端末の維持・管理。現在の図書館運営において電算システムは欠かせないものであり、開館時より運用している。合併に伴い、両町のシステムを統合した。インターネットの普及により、蔵書の検索がホームページより行えるようなシステムを構築した。新システムでは蔵書情報をインターネットに公開し、利用者に情報を公開している。合併時に導入した図書館システムの更新を平成25年3月に行い、サーバー方式からクラウド方式へ変更した。平成30年3月にシステム及び機器の更新を実施した。(学校図書館システムと切り離された。)
【業務の流れ】	システム会社と図書館(指定管理)との調整。システム更新業務(協議・契約等)
【主な予算費目】	委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	更新に際し新機能を追加したことで、さらなる図書館サービスの充実が図れる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	図書館システムの維持管理・保守管理を行い、システムの安定稼働に努めた。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) システムの安定稼働のための保守契約を行う。令和6年度からの新システム導入のための、プロポーザルを実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア! 登録者数 イ! 蔵書数	予算の主な増減の理由 R5より(10858)図書館施設維持管理事業と統合
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	図書館システム	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 時間 ア! システムの稼働時間 イ!
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	円滑な図書館運営を行うシステムの安定稼働を図る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 ア! システム不具合 イ!
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠 維持管理の事業のためトラブル件数等の指標とした。 経年により若干増えたと予想した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	人	24,546	25,499	33,000	25,861	0	0	0	0	
	点	340,102	342,012	323,000	343,179	0	0	0	0	
	時間	2,920	2,920	2,920	2,920	0	0	0	0	
② 対象指標	件	1	0	0	0	0	0	0	0	
③ 成果指標	件									
投資	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	5,157	5,157	5,157	5,157				
入費	(A) 事業費計	千円	5,157	5,157	5,157	5,157	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	人	5	4	1	4	0	0	0	0
量	正規職員従事人数	人	5	4	1	4	0	0	0	0
	延べ業務時間	時間	140	75	300	75	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	552	293	1,195	285	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,709	5,450	6,352	5,442	0	0	0	0	

事務事業名	図書館電算管理システム維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 大きなトラブルもなく稼働し、更新も完了した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ⇒
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 SEと図書館職員との定例会を月に1回行うなど連携体制をとり、不具合やシステムの修正等も早めに対応してもらうことでトラブルが回避できる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 安定稼働状態を維持するための事業であり、向上余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 図書館独自のシステムのため統合等ができない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 図書館システムを稼働するための必要最小限の経費である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在委託で行っており、人件費の削減余地は限られる。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 図書館システムを安定稼働するための経費であり公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 委託事業であり適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (CHECK)

小さな故障については、すぐに対応し安定稼働に努めている。システムについても、定例会等で積極的に要望し、改善を求めている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					